



E:Education
for
S:Sustainable
D:Development
O:omagari
m:minami

H.28.6.3 No.2

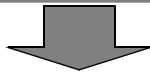
2年生 ユーラスエナジー・秋田市環境センター見学

5月26日(木)、総合的な学習の時間の課題設定や修学旅行のための集団訓練を目的にした秋田市での校外学習を行いました。見学先は、風力発電の風車6基を稼働させているユーラスエナジー秋田港と、秋田市のゴミの処理・リサイクルを行っている秋田市環境センターです。

見学前の事前学習で次のような質問をもって見学しました。係の方の説明の中で、それらの多くは解決し、事後の学習で新たな課題を設定しました。

見学前の疑問

- ・風車1台作るのにどれくらいのコストがかかるのか。また送電線を作るのにどれくらい費用がかかるのか。
- ・発電量18,000kwとは、具体的にはどれくらいの量なのか。たとえば、1日に個人の家庭で使用する電力にすると何軒分をまかなえるか。
- ・風力発電のメリット・デメリットとしてどのようなことが挙げられるか。
- ・風力発電の開発に必要な条件はどのようなことか。海の近くが適していると思うが、それ以外にはないのだろうか。
- ・風速6.5mの風で風車はどれくらいのスピードで回るのか。なぜ羽は3つなのか。



見学後生徒が設定した課題（一部抜粋）

- ☆再生可能エネルギーを発電の中心にするためにはどうすればよいか。
- ☆未来の地球環境を改善する発電とは？
- ☆地熱発電のメリット・デメリット～世界の地熱発電と比較する～
- ☆クリーンエネルギーのメリット・デメリットはなにか。
- ☆世界各国の資源活性化対策はどのようなものがあるか。
- ☆火力発電に代わる二酸化炭素を出さない発電方法で生活していくにはどうすればよいか？

この活動を通して、身近な疑問からさらに広い視点での課題を設定することができました。この後、自分の課題に対しての仮説を立て、調査していきます。そして学校祭では、ESDの立場から、それぞれができることを発信していくことにしています。

校外学習としてユーラス秋田港ウィンドファーム、総合環境センターへ行きました。風車をあんなに間近で見るとは今までなかったので、貴重な体験でした。また、実際に風力発電に関わっている方からお話を伺うことができたので、インターネットや本に載っていない情報を得られました。

そして、今回の校外学習で学んだことは修学旅行にもつながっているので、メモしたことをまとめて、エネルギーと環境を結びつけて考えるための、1つのターゲットにできたらいいです。

生徒の感想から

